



チャレンジ! グリーン活動

省資源・省エネルギー推進コース

直島町立直島小学校

直島小学校 ISO委員会

わたしたち直島小学校ISO委員会は、直島町・直島小学校のよりよい環境づくりを目指してテトラパック回収や節電・節水を中心とした様々なエコ活動に対する全校生の意欲を高めるよう呼び掛けをしたり、日々の実践に取り組んだりしています。全校生が「エコタウン直島」の一員であるという自覚を高めるよう、みんなで力を合わせて頑張ります。(平成14年より、直島町はエコタウンとしての認定を受けています。)

目標

直島のために、いいこと(I)、すすんで(S)、おこなおう(O)

指標

- ・昨年度よりテトラパック回収量を増やし、20箱以上を目指す。
- ・テトラパック回収だけでなく、インクカートリッジ回収も行う。
- ・消費電力・水道使用量を昨年度より減らすよう、呼び掛けや減量運動を行う。

活動の様子

○活動内容

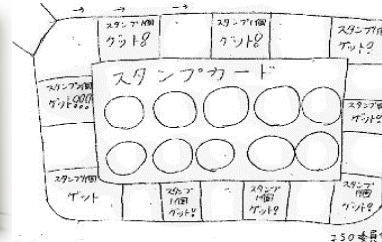
(1)テトラパック

限りある資源を有効活用するために集めている、給食で使われた牛乳パックをクラスで集めるだけでなく、家庭で使ったものも回収できるよう、全校生に呼び掛けた。牛乳が付いていたままであったり、ストローのビニールが付いたままであると、再利用ができなくなるため、校内テレビ放送を使って、全校生に牛乳パックの丁寧な洗い方とビニールの処分についての呼び掛けを行った。

(2)節電・節水

節電のための緑のカーテンとして、校舎の南側にゴーヤを栽培した。児童が当番を決めて手分けして毎朝の水やりと、草抜きを行った。節水のため、ゴーヤへの水やりは井戸水を用いた。各クラスの学級園への水やりでも、井戸水を使用してもらうために、テレビ朝会でどこに井戸水の蛇口があるか紹介した。

2学期には、節電・節水を楽しんで行ってもらおうと、すぐろくスタンプカードを考えた。節電・節水ができていたらサインを書き、すぐろくのようにマスを進んでいく。決められた場所まで来ると、スタンプがもらえるというルールを考え、実践した。



<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

- ・緑のカーテンとして植えているゴーヤの栽培に、毎日取り組むことができた。
- ・すぐろくスタンプカードを実践すると、全校生が意識してくれ、一周できたクラスには賞状を渡し、校内放送でそのがんばりを紹介した。

目標の達成度

すぐろくスタンプカードを実践した月は、他の月よりも電気・水道共に、使用量が減ることにつながった。テトラパック回収とインクカートリッジの回収は、全校生の協力もあり、10カ月で合計17箱達成できたので、この意欲を持続させ、残りの期間も更に回収を進めたい。